

な わ し ょ う つ う し ん

暁小通信

令和7年度 第9号

令和7年10月7日発行

四條暁市立四條暁小学校

校長 香村 紀子



の練習が 始まっています。

ようやく一日の最高気温が 30度を下回るようになりました。秋になってきた実感があり、体もほっとします。とはいえ、10月前半は平年より気温は高い予報で、まだまだ気を許すことはできません。

そんな中、10月18日(土)の運動会に向けて、練習が始まりました。

10月1日(水)には、全体練習の1回目を行いました。大きな空間で、周りにたくさんの方がいる中、まっすぐ並ぶことは簡単ではありません。それでも、一番前の人を起点にして何とかまっすぐ並ぼうと、右に一步、左に一步、と調整している姿に、その懸命さが愛らしく感じられこちらも笑顔になります。

ただ、あんまりにもこの夏が暑すぎて、涼しさを求めながら過ごすことが多かったことを思えば、まだ陽ざしの強さを感じるこの時期、体調を崩さないかと心配になっています。子どもたちは、運動会練習をがんばっているのです、しっかりごはんを食べて、しっかり睡眠時間を取り、おうちでの体調管理をお願いします。また、これまでと同じく、十分な水分補給ができるようご協力ください。よろしくおねがいします。

運動会の楽しみ方は、子どもそれぞれ。「がんばって はしるぞー!」と思っている子もいれば、「踊るの、たのしいー!」っていう子もいます。「友だちと一緒に〇〇するのがうれしいっ!」っていう子もいます。「運動会の雰囲気、わくわくするなー。」っていう楽しみ方をする子もいるでしょう。いろんな楽しみ方があって、もちろんいい。自分の楽しみ方を見つけれられるといいなと思います。

みんなの意見を聞きながら代表委員会が掲げた運動会目標は、

「きずなをふかめろ いっちだんけつ」。

いろんな種目に取組む中で、友だちとのつながりを感じながら、がんばってよかった、やってみて楽しかった、と思える運動会にしたいってことなんだな、と思います。この目標に少しでも近づくように、毎日の練習から、どうすればいいかな、こうしてみようかな、と考えたり行動できるといいですね。

18日までの約2週間。み～んなで、がんばろう!

おうちでの、応援・ご協力、よろしくおねがいします。



せいもん 正門のオートロック化・・・



はじ 初めてのことが、こんなに 難（むずか）しいことなのか!と実感しています。職員室（しょくいんしつ）の中だけでなく、来校（らいこう）いただく保護者（ほごしゃ）の方々（かたがた）も、これまでとの違い（ちが）に戸惑（とまど）いを感じておられることと思います。一方で、これ（いっぽう）も長く正門（せいもん）の出入り（でい）をしっかりと守（まも）ってくださった学校安全協議会（がっこうあんぜんきょうぎかい）の方々のありがたさが身（み）にしみます。正門（せいもん）がオートロック化（か）されても、学校（がっこう）が安全（あんぜん）な場所（ばしょ）であることが必須（ひつす）。だからこそ、来校（らいこう）の際（さい）にはいろいろとお願い（ねが）していることをご理解（りかい）いただいて、快（こころよ）く応（おう）じてくださり、とてもありがたいです。本（ほん）当（とう）にありがとうございます。こう（じょう）いう状況（きょうきょう）に出（で）会うたび、学校（がっこう）が保護者（ほごしゃ）の方々（かたがた）や地域（ちいき）の方（かた）々、その他（ほか）たくさんの方（かた）によって支（さ）えていただいていることを実感（じっかん）します。

せいもんたいおう 正門対応（せいもんたいおう）については、まだまだうまくいかないこともあると思いますが、まずはとにかく「安全（あんぜん）を守る（まも）る」をベース（ベース）にすすめてまいります。いつもありがとうございます!



うつく 美（うつく）しいお月（つき）さまでした ～中秋（ちゅうしゅう）の名月（めいげつ）～

ことし ちゅうしゅう 名月（めいげつ）は、昨夜（さくや）。10月6日（がつむいか）でした。週末（しゅうまつ）に降（ふ）った雨（あめ）が空（くう）気をきれいにしてくれたおかげ（うつく）か、とても美（うつく）しく、いつもより大（おお）きく見（み）えました。

めいげつ 名月（めいげつ）という「十五夜（じゅうごや）」と思（おも）われがち（がち）です。「十五夜（じゅうごや）」とは、昔（むかし）の暦（こよみ）（太陰（たいいん）太陽（たいよう）暦（れき）=月（つき）の満（まん）ち欠（け）けをもとに決（き）められた暦（こよみ））で、新（しん）月（げつ）から 15日（にち）目の夜（よる）のこと。もちろん月（つき）が美（うつく）しいには違（ちが）い（ちが）ないのですが、今年（ことし）は満（まん）月（げつ）ではな（な）かったそう。満（まん）月（げつ）は、今（こん）夜（や）10月（がつ）7日（にち）だそう（が）です。

まんげつ 満（まん）月（げつ）は、月（つき）が地球（ちきゅう）をはさんで太陽（たいよう）の反（はん）対（たい）に位置（いち）する『瞬間（しゅんかん）』の月（つき）のこと、と書（か）いてあ（あ）ったの（の）を（よ）読（よ）むと、そ（そ）のはかな（かな）さに一（いっ）層（そう）美（うつく）しさを（かん）じます。

いそが 忙しい（いそが）時間（じかん）の中（なか）ではありますが、今（こん）夜（や）は少（すこ）し長（なが）めに、子（こ）どもたち（たち）と空（そら）を見（み）上（あ）げ（あ）げて満（まん）月（げつ）を愛（め）で（で）て（て）み（み）て（て）は（は）い（い）か（か）が（が）で（で）しょう（しょう）か。昔（むかし）の（ひと）人（ひと）たち（たち）も、同（おな）じ（じ）よう（よう）に（うつく）美（うつく）しい（つき）月（つき）を（たの）し（たの）んで（い）た（こと）に（おも）い（は）馳（は）せ（せ）な（な）が（が）ら（ら）。

ひやくにんいっしゅ
（百人一首（よ）り）

あきかぜ 秋風（あきかぜ）に た（くも）な（た）び（ま）く（ま）雲（う）の（た）絶（た）え（ま）間（ま）より

い 月（つき）の影（かげ）の（さ）や（け）さ
もれ出（い）づる月（つき）の影（かげ）の（さ）や（け）さ』

さきょうのだいぶあきすけ
左京大夫顕輔

げんだいごやく 現代語訳（げんだいごやく）：秋風（あきかぜ）に吹（ふ）かれてた（くも）な（た）び（ま）いて（る）雲（う）の切（き）れ間（ま）から（で）もれ出（い）てく（る）月（つき）の光（ひかり）の、
何（なん）と（す）澄（き）み切（あか）った明（あ）るさ（さ）である（こと）か。